

全日本民医連 第3回労働安全衛生そもそもセミナーの概要報告

日時;2024年6月6日(木) 14:00~16:00 オンラインセミナー

目的

- ①労働安全衛生のそもそもを理解し、現場の改善に一步踏み出していただく機会とする。
- ②労働安全衛生委員会の体制を全ての県連・法人・事業所で更に整備・強化する契機とする。

参加 42 県連 506 人

講師 岡田 崇願 先生

日本産業衛生学会社会医学系指導医・専門医、産業衛生指導医・専門医
高知医療生活協同組合産業保健・労働衛生工学担当・高知生協病院副院長
全日本民医連職員健康管理委員

大要

今年で3回目となるセミナーには、これまでの倍以上の506人が42県連から参加。10年ぶりに改訂した『健康で働き続けられる職場づくり』パンフレットの影響と、コロナ禍で改めて強まった職員の健康を守り働き続けられる職場をつくる事への関心の高さが表れた集まりとなりました。セミナー講師は今回も産業医の岡田崇願先生にお願いし、法律そのものが、元々大規模工場を想定し誕生したもので、民医連に多い50人以下の事業場での法令遵守を越えた取り組みが課題となっている事、職場改善は一気に行う必要はなく少しずつの改善を積み上げるための一步を踏み出す事、対策の基本は上流となる元から断つ事など、レクチャーしていただきました。また、2024年のトレンドとして「合理的配慮義務」「化学物質管理者の選任」についても概説していただきました。

参加者からは『少しでも前進できたら運動としてもOKとの話に励まされた』『三回とも参加しているが、毎回初心に戻って新鮮な気持ちで学んでいる』『申し込み不要で資料もホームページから取得できてとても参加しやすかった』『委員会として位置づけて全員で視聴した』等の感想とたくさんの質問が寄せられました。

セミナーの資料・動画・質疑応答はホームページに掲載します。



©パンフレットは全日本民医連オンライン書店から300円で購入できます。

<https://www.min-iren.gr.jp/ec/html/products/detail/59>